

事業者名	山形県								
機器名	超高分解能走査型電子顕微鏡								
写真									
特徴・用途	電界放出電子銃から照射された電子線により、試料の微細構造観察や元素分析を行う装置。自動焦点合わせや自動非点収差補正により、高倍率の観察を迅速に行うことが可能。								
設置場所	山形県工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成30年2月	16	0	3	3	15	6	7	19
	平成30年3月	18	3	0	3	9	7	1	14
	平成30年4月	16	5	3	6	15	9	1	24
	平成30年5月	19	5	1	5	14	6	2	19
	平成30年6月	16	7	1	11	28	1	0	20
	平成30年7月	17	1	0	12	34	8	2	23
	平成30年8月	15	4	0	12	29	4	4	24
	平成30年9月	14	1	0	11	32	8	1	21
	平成30年10月	13	2	0	4	12	8	2	16
	平成30年11月	13	1	0	5	13	4	0	10
	平成30年12月	12	4	1	6	12	4	0	15
	平成31年1月	16	4	1	1	1	13	0	19
	平成31年2月	9	0	0	2	2	6	1	9
平成31年3月	16	3	0	6	22	11	0	20	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・10万倍といった高倍率で観察することができ、微細な構造も確認できるようになった。 ・これまでの電子顕微鏡に比べて操作性が向上し、短時間で作業を完了できるようになった。 ・試料室内部をカメラで観察することができ、サンプルの位置を把握しやすくなった。 ・観察位置を試料全体の画像から指定できるため、正確に目的の場所を観察できるようになった。 ・試料サイズを装置が認識するため、内部機器と試料が干渉するおそれなくなった。 								
補助事業概要 の広報資料	https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-066koho.pdf								